

# 小学校中学年【3・4年生】のみなさんへ

## 登別市立図書館の「夏休みおすすめ本」リスト【2011年版】

種類	タイトル	著者名	出版社	内容
図書	しごとば	鈴木のりたけノ作	ブロンズ新社	自動車整備士や新幹線運転士、革職人など、子どもに人気の職業の仕事をイラストで再現し、必要な道具や仕事の内容を紹介。普段なかなか見ることができない仕事場の様子がわかる。
絵本	わたしたち手で話します	フランツ＝ヨーゼフ・ファイニク作 フェレーナ・バルハウス絵	あかね書房	耳の不自由なリーザが広場に行くと、子どもたちが声をかけてきた。でもリーザにはわからない。そこに手話で話してくれるトーマスが現れて…。体が不自由な人への理解が深まる絵本。
図書	やかまし村の子どもたち	リンドグレーン作	岩波書店	小さい小さいやかまし村には、家は3軒きり、子どもは6人しかいません。6人はいっしょに遊んだり、女の子組と男の子組で張りあったり、いつもにぎやかです。スウェーデンのいなかの豊かな自然と、いきいきとした子どもたちのくらしを描いた、リンドグレーンの人気代表作。
図書	金のがちょうのほん —四つのむかしばなし—	レズリー・ブルック文・画	福音館書店	三びきのくま」「三びきのこぶた」「金のがちょう」「親ゆびトム」というイギリスの昔話に、ブルックが、これ以上ないと思わせるほど見事な絵をつけています。
図書	あるくのがきらいな王さまのはなし	松野正子作 岡田淳絵	PHP研究所	あるところに、あるくのがきらいな王さまがいました。あるくのは、おふろにはいるときか、おてあらいにいくときくらいなもの。おしろの外は、ひと足たりともあるかずに、かならず馬車にのっていきます。そんな王さまが、となりのくにのおひめさまにあいにいくことになりました。ところが、馬車がかえなくなってしまう…。
絵本	おとうさんのちず	ユリ・シュルヴィッツ作	あすなろ書房	戦争で、なにもかも失ったぼくの家族は、遠い東の国まで逃げてきた。食べるものも足りなくて、パンを買うお金もほとんどなかった。そんなある日、お父さんは、パンを買うかわりに、地図を買ってきた。おなかがぺこぺこのぼくは、お父さんに腹を立てたけれど、大きな地図をみていたら…。
絵本	カブトムシがいきる森	筒井学写真と文	小学館	カブトムシの夏は一瞬にして過ぎていく。めぐる季節の中で、人がつくり出した雑木林とカブトムシの関わり…。カブトムシの魅力がいっぱいな写真絵本。
図書	たんぽぽ	丘修三作 長野ヒデ子絵	小峰書店	スイミングスクールはもうとっくに終わったのに、チカのお母さんはまだ迎えにこない。ひとりで帰ろうとして迷ってしまったチカが泣いていると、ひとりの男の子が現れ…。心あたたまる8つの物語。
絵本	ほしにむすばれて	谷川俊太郎文 えびなみつる絵	文研出版	おじいちゃんは、こどものころ、いちばんほしがみえはじめたら、ともだちとさよならして、ひとりでうちへかえったんだって。ほしぞらぐだいですきなおじいちゃん、じぶんでぼうえんきょうをつくったり、ほしがよくみえるやまのうえに、いえをたてたりした。そして、こどものころつかったぼうえんきょうを、ぼくにのこしてくれたんだ…。